

平成28年度第2回新潟大学東京事務所「Evening Seminar & Communication Salon」

開催日時：平成28年11月17日（木）18：30～20：40

場所：TKP 田町カンファレンスセンター**（定員60名） <http://tkptamachi.net/>

※場所はCIC東京ではありません。

1. 講演の部 18：30～19：30

テーマ「バイオディーゼル燃料の現場活用によるCO2排出量削減 と資源循環型社会への貢献」(平成26年土木学会環境賞受賞)

講師：柳 雅之(やなぎ まさゆき)氏(鹿島建設株式会社環境本部担当部長)

【概要】地球温暖化に対処するために、建設工事においてもCO2排出量の削減が求められている。建設工事におけるCO2排出量のうち、約25%が施工中のエネルギー消費によって発生しており、その約70%が建設機械の燃料の軽油であるため、軽油の消費量を削減することが有効な対策となる。

軽油等の化石燃料は、燃焼時に発生するCO2が大気中に増加するが、バイオ燃料は、植物が光合成によりCO2を吸収して合成する油脂から作られる“カーボンニュートラル”な燃料と考えられている。そこでバイオディーゼル燃料に着目し、製造技術の研究開発およびグループ会社による製造から施工現場における活用の社会実装まで一貫した活動を実施した。

活動実績は、現場活用を平成21年9月より開始し、平成28年9月末までの7年間で40現場、使用量は累計で約80万ℓ、約2,000ton- CO2を削減、使用した建設機械は14機種、使用場所は全国10都府県である。さらに、CO2削減と同時に資源循環型社会を実現するために、東京都内で使用するバイオディーゼル燃料は、東京23区内で収集した廃食用油から江東区で燃料を製造する“地産地消”を実行している。あわせて、バイオディーゼル燃料の利用拡大のために（一社）日本建設業連合会より「利用ガイドライン」を発行し、全国で多くの建設会社によるCO2排出削減が実現できるように活動している。

【講師の略歴】

新潟大学農学部農業工学科（昭和58年卒／昭和60年院卒）

昭和60年4月、鹿島建設株式会社に入社、以後、横浜支店に5年、技術研究所に9年、土木管理本部に15年、環境本部に2年勤務

主に、緑化、農業関連施設、CO2削減などの環境関連の業務に従事。

2. 交流会の部 19：40～20：40

講師を囲み質問・提言、出席者相互の交流などビールを飲みながら活発なる会員活動を行なう会合であります。

【講演の部】は事前登録で何方でも参加できます。（参加費無料）受付順で定員（70名）になり次第締め切り。

【交流会の部】はクラブ会員限定で、事前登録制であります。（参加費2,500円）

当日、クラブ会員への入会も可能。

正会員：法人（入会金10,000円、年会費10,000円）、

個人（入会金1,000円、年会費1,000円）

【参加お申込み先】

新潟大学東京事務所 TEL&FAX:03-5440-9081 E-mail: tokyo-office@adm.niigata-u.ac.jp